

家庭教育ブック

令和5年3月 保存版

しながわ 子育て 応援歌



～自立への旅立ち～



8年生～9年生

品川区教育委員会
品川区立学校長会
品川区立小・中学校PTA連合会

は じ め に

この家庭教育ブック『しながわ子育て応援歌』は、子どもたちが自立した社会人として成長することを願い、小・中学生のお子さんを持つ保護者である親への子育てのヒントとなるよう作成いたしました。作成にあたっては、品川区の小中一貫教育の4（1～4年生）・3（5～7年生）・2（8～9年生）のまとまりごとに、心身の発達や市民科の学習内容を考慮して編集いたしました。

子どもが健全に育ってほしいという願いは、どの親も共通です。また、子どもの健やかな成長は、親にとってこの上ない喜びです。しかし、子育ては生易しいことではありません。その過程には様々な問題や悩みが生じるものです。

社会の変化にともない、子育てに対する考え方も多様化しています。同様に、子育てに関する問題や悩みも多様化・複雑化しています。そればかりではなく、子育てに関して相談したくても、仕事をしているために時間の余裕がなかったり、時間があってもどこに相談してよいのかが分からなかったりする実態もあります。

この『しながわ子育て応援歌』をご覧になることで、親としての在り様や子育ての在り方についての気付きになることがあるかと思います。また、相談できる窓口を知る手がかりとすることもできます。

品川区は、子育ての問題や悩みを教育と福祉の両輪で支援しています。
ご一緒に子育てについて考えてみませんか。

品川区教育委員会

市民科の目標【8～9年生】

市民意識の醸成と将来の生き方

1. 市民の一員として社会の出来事に関心を持ち、問題解決に向けた思考力や判断力を高めるとともに、職業体験やボランティアなどの活動を通し、積極的に社会に貢献する態度を形成する。
2. 将来の自己の生き方について展望を持ち、社会の中で自己実現に向けた望ましい職業観・勤労観などを育成する。



目次

はじめに

こんなときは、どうしたらいいの？ 10 の悩み

1	親を避け、話をしなくなった	3
2	試験前でも勉強したがない	4
3	夜遅くまでテレビやインターネットに夢中になっている	5
4	ブランド品など高額な物を欲しが	6
5	子どもがいじめられていないか心配である	7
6	習い事などをして、なかなかやる気を起こさない	8
7	待ちきれずに、せきたててしまう	9
8	「ほめる」よりも「叱る」ほうが多くなってしまう	10
9	ついカッとなってしまう	11
10	身の回りがだらしく、つい手助けをしてしまう	12

子育て 12 のヒント

1	「早寝・早起き・朝ごはん」は、活力の源	13
2	朝食を毎日食べるメリット	14
3	心が安らぐ家庭に	15
4	家事の分担は自立への道	16
5	携帯電話やインターネットは使いよう	17
6	携帯電話のルールづくり（例）	18
7	高めたい危険予知・回避能力	19
8	「生きる力」をはぐくむ体験・ボランティア活動	20
9	反抗期への向き合い方	21
10	「相談したくなる親」の条件	22
11	夢の実現への後押しを	23
12	ピンチをチャンスに	24

身に付けさせたい5つのスキル・ルール・マナー

- 1 心を開く、明るいあいさつ・元気な返事 25
- 2 一度口にした言葉は元に戻らない 26
- 3 「歩きスマホ」は、他人も自分も危険に 27
- 4 徹底が必要な「情報モラル」 28
- 5 自ら守る社会のルールとマナー 29

親の心構え 3つの道しるべ

- 1 親とは？ 親として・・・ 30
- 2 家庭教育の役割とは？ 31
- 3 親同士のつながりが子育ての力に 32

子育て支援... **きっと役立つ連絡先** 33～36

新型コロナウイルス感染症対策について 37・38